

大阪市北区 社会福祉協議会



地域福祉コーディネーター
山田 摩利子さん

大阪市北区社会福祉協議会の『地域の身近な相談窓口』として、今年9月より中津福祉会館に平日午前中待機してくださっています。



日々の暮らしの中のちょっとした困り事、どこに相談したらいいかな？ 誰かに聞いてもらいたいな、という時、訪ねてみてください。きっと力になってくれます。

〈山田摩利子さん自己紹介〉

中津に15年在住する中、私自身も子育て中に起こった親の在宅介護や在宅医療などで、誰に相談したらよいのかわからず困った時もありましたが、今後はその経験を活かし、地域にお住まいで支援を必要とする方の相談をお受けし、必要な関係機関へつないでいく地域密着の相談員として、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりに取り組んで参ります。

防犯灯 事業



中津の街の安心、安全を守るしくみのひとつに、防犯灯事業があります。

街のあちこちに設置されている防犯灯や防犯カメラは、中津連合振興町会が設置、維持管理や電気代を中津地域活動協議会が補助しています。



中津地域活動協議会ホームページ

あいらぶ中津

<http://umedanotonari.com/>

中津の情報は、中津地域活動協議会のホームページやFacebookページでご覧いただけます。

ぜひ、のぞいてみてくださいね！



なかつかな？

大淀信号守らせ隊キャラクター「おおよどん」をご存知ですか？

中津1丁目にある大淀警察署の玄関入って右側にゆるきやらがいたのをご存知ですか。その名は「おおよどん」大淀署のマスコットキャラクターです。

「おおよどん」についてのことは大淀署のキャラクター横に説明書きがありました。



【おおよどんの物語】

いつもお客さんでいっぱいになる大繁盛のお蕎麦屋さんがありました。

ある日、お蕎麦屋さんの大将がおかもちを取り付けたオートバイで出前に出かけている途中、信号無視で走ってきた自転車と出合頭にぶつかってしまった。

オートバイはひっくり返り、おかもちに入れていたお蕎麦や丼は道路にガチャーンと散らばってしまいました。

大将はかすり傷でしたが、道路にはバラバラに割れどんぶりがいくつも転がっていました。

しかし、ぶつかった拍子に運良く淀川に落ちて助かったどんぶりがひとつだけあったのです。

そのどんぶりは飛び出した勢いで中身は空っぽです。

でも、どんぶりは淀川を流れながら事故の様子を思い出していました。

「みんな、バラバラに割れちゃってたな・・・」

そうして、考えました。

「お父さんやおかあさん（丼）が怪我したのは信号無視をした自転車のせいだ。」

どんぶりは時に橋脚にぶつかり、時に魚につつかれたりしながらも、淀川を流れながら考えました。

「信号は守らないといけない!! 僕が何とかしなければ。」

どうにか岸にたどり着いたとき、どんぶりには何と、手と足が!

ここにおおよどんが誕生しました!!

先日大淀警察署に用があつて行ったときに「おおよどん」がいませんでした。そのことを警察署員に尋ねると、返答に困られましたが、奥から今「おおよどん」は大きな事件を追っていて出張中ですと。「おおよどん」また会える日が来るのかな。

日常・下町・再発見

編集後記



音楽は人生に力を与えてくれます。QUEENの映画、「ボヘミアンラプソディ」が公開されました。学生の時に友人に連れられて、初めて行ったロックコンサート。かなりの衝撃と感動を受けた記憶がありましたが、その後、結婚や子育てに忙しく何十年も聞いていなかったのに、映画を見て瞬間に当時がよみがえりました。そして、辛い時も乗り切ったのは音楽のお陰かなと。

最近、何かと音楽に携わってられるのも、その時の感動が心の奥にあったからなのかなとも思えます。何回レイトショーに行けるかと手帳を見ながら算段できるのも梅田に近い中津に住めているお陰です。(岡田)